

平成 28 年度 政策評価表

総合的に取り組む 重点課題	子どもを大切にすまちづくり	ゼネラルマ ネージャー	こども未来部長 本田 静香
------------------	---------------	----------------	------------------

後期基本計画で掲げた取り組み方針

- 1 教育力の向上
- 2 子ども・子育て支援の充実
- 3 (仮称)所沢市子ども支援センターの整備

1. ゼネラルマネージャーによる活動計画

計画期間における方向性	<p>・教育については、学ぶなら所沢と言われる教育環境を実現するため、教職員の力量を高め、十分に力を発揮できる環境を創る。</p> <p>・子育てについては、子どもの成長を家族などの身近な人が喜びや生きがいとして感じることができる社会を目指す。</p>			
各年度の目標	H27(実績)	H28	H29	H30
	<p>・教育環境の充実</p> <p>・子育て環境の充実</p>	<p>・教育環境の充実</p> <p>・子育て環境の充実</p>	<p>・教育環境の充実</p> <p>・子育て環境の充実</p>	<p>・教育環境の充実</p> <p>・子育て環境の充実</p>
各年度の活動内容	<p>(1)教育力の向上</p> <p>・学力向上支援講師を配置するとともに、「学び創造プラン」に基づき、学校・家庭・地域の教育力の向上を図った。</p> <p>(2)子ども子育て支援の充実</p> <p>・平成28年4月開園に向け、民間保育園2園の施設整備を進めた。</p> <p>・中富小学校放課後児童対策一体運営を実施した。</p> <p>・狭隘化、大規模化が著しい児童クラブの対象学校区への方策として民設民営児童クラブの導入準備を進めた。</p> <p>・利用者支援事業(ところっこ子育てサポート事業)として、こども支援課内に専門職員を配置し、子育て支援事業についての情報提供・相談・助言を行った。</p> <p>・子ども子育て新制度移行に伴い、利用時間が、標準、短時間に分かれ、保育時間について正確な時間の記録をするため、各園にタイムレコーダーを導入した。</p> <p>・平成29年1月に開設予定のこども支援センターについて、専門機関と開設に向けた連携協定を締結するとともに、条例の制定や事業費の予算化を進めた。</p>	<p>(1)教育力の向上</p> <p>・「学び創造プラン」に基づき、学校・家庭・地域の教育力の向上を図るとともに、教育用ICT環境の整備、教職員の活用力の向上を図る。</p> <p>(2)子ども子育て支援の充実</p> <p>・「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援の充実を図る。</p> <p>・「所沢市放課後児童対策実施方針」に基づき児童クラブの施設整備を進める。</p> <p>・こども支援センターの平成29年1月の開設に向けて、関係課と調整し、準備を進める。</p> <p>・利用者支援事業(妊娠・出産つづけてサポート事業)を実施する。</p> <p>・三世同居(近居)を進めるための施策を推進する</p> <p>・子どもの貧困に関する政策の充実を図る。</p>	<p>(1)教育力の向上</p> <p>・「学び創造プラン」の成果と課題や、小学校の英語、道徳など今日的課題も踏まえた教職員の研修を充実させ、学校・家庭・地域の教育力の向上を図る。</p> <p>(2)子ども子育て支援の充実</p> <p>・「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援の充実を図る。</p> <p>・児童クラブと「ほうかごところ」の一体運営事業に指定管理者制度を導入する。</p> <p>・こども支援センターを核とし、地域の子育て支援を更に充実する。</p> <p>・三世同居(近居)を進めるための施策を推進する。</p> <p>・子どもの貧困に関する政策の充実を図る。</p>	<p>(1)教育力の向上</p> <p>・今日的課題、次期学習指導要領の先行実施に応じた教職員の研修、調査・研究を充実させ、学校・家庭・地域の教育力の向上を図る。</p> <p>(2)子ども子育て支援の充実</p> <p>・「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援の充実を図るとともに、次期計画期間に向け、進捗状況の検証を行い、策定の準備を始める。</p> <p>・三世同居(近居)を進めるための施策を推進する。</p> <p>・子どもの貧困に関する政策の充実を図る。</p>

2. 計画期間における目標指標

指標名	単位	策定時の数値	H27年度実績	H27年度目標値	H27年度における達成率	将来目標(H30)
教育センター研修会の満足度	%	72.0	67.2	73.0	92.1%	76.0
地域子育て支援拠点施設の利用者数	人	126,685	221,345	180,000	123.0%	256,000
所沢市こども支援センターの利用者数	人	—	—	—	—	64,000

3. 第5次所沢市総合計画後期基本計画内にある施策のうち「充実すべき施策」と感じている市民の数（「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果）

節 名 称		「充実すべき施策」と感じている人数 (2,125人中)	割合	全42節中順位
第3章「健康・福祉」	第2節「子ども支援」	884人	41.6%	6位
第3章「健康・福祉」	第3節「青少年育成」	618人	29.1%	26位
第4章「教育・文化・スポーツ」	第2節「学校教育」	666人	31.3%	23位
第5章「産業・経済」	第5節「労働・雇用環境」	813人	38.3%	10位

4. 政策を構成する主要事業の進捗状況

事業名	H27 決算額 (単位:千円)	H28 予算額 (単位:千円)	成果指標				
			指標名	単位	H27 実績	H27 目標値	達成率 (%)
学力向上支援講師配置事業	16,355	21,000	学校における検証結果(配置校校長の評価の平均)	%	100	100	100%
「学び創造プラン」学力向上推進事業	5,194	5,392	研究委託校における検証結果(研究報告書等から)	%	100	100	100%
教職員資質向上事業	433	980	研修会参加者アンケートの「大変良かった・良かった」の割合	%	98	100	98%
子ども・子育て支援事業計画推進事業	537	677	順調に進んでいる事業の件数	件	16	16	100%
地域子育て支援拠点事業	120,619	125,543	地域子育て支援拠点施設の利用者数	人	221,345	180,000	123%
ところっこ子育てサポート事業	2,121	3,800	相談件数	件	92	100	92%
障害児通所支援事業	579,625	666,000	年間延べ利用人数	人	6,788	4,836	140%
民設民営による放課後児童健全育成事業導入事業	0	6,579	-	-	-	-	-
乳児家庭全戸訪問事業	11,215	12,934	本事業による把握率	%	87.0	80	109%
所沢市三世代同居等リフォーム資金補助事業	1,943	3,000	三世代リフォーム補助件数	件	13	10	130%
こども支援センター運営事業(子育て支援)	0	21,906	-	-	-	-	-
こども支援センター運営事業(発達支援)	0	38,832	-	-	-	-	-

5. 各取り組み方針における進捗状況

1 教育力の向上	2 子ども・子育て支援の充実
<p>子どもたちの確かな学力と自立する力の育成のために、「学び創造プラン」学力向上推進事業を実施し、学力向上支援講師を配置した。教職員に対しては教職員資質向上事業を実施した。また、社会教育の分野と連携し、「ノーマディア・チャレンジ」や家庭での読書の取組により家庭学習の機会を多く設けた。家庭における教育力の充実・向上を図るために、市内全小中学校で家庭教育学級を開催した。学校司書を増員し、配置校を増やし、子どもの読書活動の推進を図った。教育センター研修会には、延べ2,772人の教職員の参加があった。指導者派遣も3年連続で延べ200回を超えた。</p>	<p>子ども・子育て会議を3回開催し、子ども・子育て支援に関連する各事業の点検・評価の方法等について審議した。「所沢市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、利用者支援事業(ところっこ子育てサポート事業)として、こども支援課内に専門職員を配置し、利用者に対し保育施設等についての情報提供・相談・助言を行った。新たな放課後児童対策として、「中富小放課後児童対策一体運営事業」を開始した。民設民営児童クラブの導入準備及び第二所沢児童クラブの増築を行った。所沢市建築物耐震改修促進計画に基づき、園舎の建替え工事を行った。</p>
3 所沢市子ども支援センターの整備	
<p>設置条例を制定するとともに、「所沢市こども支援センター運営方針」に基づき、組織・運営方式・役割分担などを関係機関と調整した。また、専門性の向上のため国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所との連携協定を締結した。</p>	

6. 平成27年度における目標の達成に向けた推進状況及び自己評価	記入日 H28.7.1
<p>教育環境の充実 学力向上支援講師を配置するとともに、「学び創造プラン」に基づき、学校・家庭・地域の教育力の向上を図った。学力向上支援講師は8人を配置し、児童生徒へのきめ細かい指導を充実させることができた。また、学び創造プランの主旨に沿った授業改善など、学力向上に向けた各施策を行うことができた。 学校施設の老朽化が進む中、継続的に様々な修繕対応を行い良好な教育環境の維持管理に努めている。洋式化や老朽化対策が喫緊の課題であるトイレ改修事業については小中学校9校の工事を行い、計画的に進めている。</p> <p>子育て環境の充実 ・民間保育園2園の施設整備を進め、計画通り平成28年4月に開園し、200人の受け入れ枠を新たに確保した。 ・中富小放課後児童対策一体運営事業について「所沢市放課後児童対策実施方針」を市が目指す放課後対策として位置づけた。登録者数も順調な伸びを見せ、順調に事業が遂行されている ・施設の狭隘化、児童数の大規模化が著しい児童クラブの対象学校区への方策として民設民営児童クラブの導入準備を進め、平成28年4月より開始した。和田、牛沼、東所沢小学校区を対象として40人程度の受け入れ枠を確保し、他の児童クラブの狭隘化への緊急対策とした。 ・利用者支援事業(ところっこ子育てサポート事業)として、こども支援課内に専門職員を配置し、子育て支援事業についての情報提供・相談・助言を行い、順調に事業が遂行されている。 ・子ども子育て新制度移行に伴い、利用時間を保育標準時間と保育短時間に区別するため、各園にタイムレコーダーを導入した。このことにより、時間外保育に係る保護者等の事務手続きの軽減が図られた。 ・乳児家庭全戸訪問事業を行い、育児に関する不安や悩みの傾聴、相談、助言、子育てに関する情報提供に努めた。子育ての孤立化防止に向け、事業を遂行できた。 ・平成29年1月に開設予定のこども支援センターについて、専門機関と開設に向けた連携協定の締結や、こどもと福祉の未来館条例を制定した。 地域における子育てを支援する拠点として、開設準備は順調に進んでいる。</p>	
7. 政策会議における評価	記入日 H28.8.9
<p>子どもたちの笑顔のためには、単なる仕組みだけでなく、一人ひとりの状況に合わせた対応が大切なので、学力向上支援講師やところっこ子育てサポート事業等の取組における個別の課題への対応力のさらなる向上を図ってください。</p>	